

令和4年度（2022年度）行政評価シート

令和4年7月29日

評価者	都市景観部長 古賀久貴
-----	-------------

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野 3-(1) みどり	施策の方針	3-(1)-②都市公園の整備・管理
目標とするまちの姿	利用者の多様なニーズや特性に応じた整備・管理が行われ、都市公園が市民等の憩いの場所として親しまれています。また、地域コミュニティの創出や防災、環境負荷軽減など安全で安心な都市環境形成に重要な役割を果たしています。		
主な取組	(1)多様な都市公園の整備 山崎・台峯緑地をはじめ、利用者の多様なニーズや特性に対応した都市公園の整備に努めます。 (2)都市公園の適正な管理 老朽化した公園施設の計画的な修繕や更新、適切な植生管理を行い、ライフサイクルコストの軽減を図りながら、都市公園の質の向上を目指します。		

1 成果指標

成果指標①	人口一人当たりの都市公園の面積					出典	所管課調べ		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
平成31年4月1日	m ² /人	目標値	8.7	9.8	10.3	10.3	10.3	10.3	
8.7		実績値	8.7	9.8					
		達成率	100.0%	100.0%					
成果指標②	公園施設の修繕・更新率					出典	鎌倉市公園施設長寿命化計画		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和2年3月31日	%	目標値	6.8	11.6	17.3	26.8	39.4	50.1	
0.2		実績値	4.3	10.4					
		達成率	63.2%	89.7%					

2 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	963,324	620,473				
人件費	81,811	65,031				
総事業費	1,045,135	685,504				

3 担当部評価

(1)「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

都市景観部

鎌倉中央公園の供用区域を約23.7haから約24.6haに拡大した。 山ノ内宮下小路緑地(約0.31ha)を供用開始した。 山崎・台峯緑地(風致公園)の整備工事が年度内に完了しなかったことから、同緑地の供用区域拡大は、令和4年度に見送られた。 公園施設長寿命化計画に基づき施設の更新修繕を行った。

(2) 今後の方向性
都市景観部

山崎・台峯緑地(風致公園)の供用区域を拡大する(令和4年5月完了)。
 引き続き、山崎台峯緑地(都市緑地)の整備を進める。
 引き続き、公園施設長寿命化計画に基づき施設の更新修繕を進める。

(3) 施策の方針にひもづく事務事業の評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	都景-16	緑地維持管理事業		103,091	11,272	114,363	現状維持	S	現状維持
重	都景-17	緑地維持管理計画推進事業		4,520	7,587	12,107	拡充	S	拡充
	都景-18	公園維持管理事業		355,657	15,824	371,481	現状維持	S	現状維持
重	都景-19	公園整備事業		52,461	15,174	67,635	拡充	S	拡充
重	都景-20	公園用地取得事業		104,744	15,174	119,918	現状維持	S	現状維持

(4) 貢献度に関する分析
都市景観部

鎌倉中央公園の拡大や山ノ内宮下小路緑地の供用開始のほか、山崎・台峯緑地についても年度内に概ねの施設整備が終了し、供用拡大の目処が立っていた。
 山崎・台峯緑地(都市緑地)の供用開始に向けて、用地取得が概ね順調に進んでいる。
 緑地維持管理計画推進事業は危険木の対応を更に早めていく必要がある。